

## 商業印刷機と全身用 X 線 CT 診断装置が「第 56 回 機械工業デザイン賞 IDEA」を受賞 商業印刷機「varioPRINT iX1700」は最優秀賞となる「経済産業大臣賞」に選出

日刊工業新聞社が主催する「第 56 回 機械工業デザイン賞 IDEA」において、キヤノンの商業印刷向けインクジェットデジタルプレス「varioPRINT iX1700」が最優秀賞となる「経済産業大臣賞」を、全身用 X 線 CT 診断装置「Aquilion Rise」が「日本デザイン振興会賞」を受賞しました。キヤノングループが最優秀賞を受賞するのは 2 年連続 3 回目となります。



varioPRINT iX1700  
(商業印刷向けインクジェットデジタルプレス)



Aquilion Rise  
(全身用 X 線 CT 診断装置)

経済産業大臣賞を受賞した「varioPRINT iX1700」は、A4 サイズで毎分 170 枚、B3 サイズで毎分 73 枚の高速印刷が可能な商業印刷向けインクジェットデジタルプレスです。インク循環機構搭載の高精細プリントヘッドと高濃度ラテックスインクの採用により、高い稼働率を達成しながら、オフセット印刷に迫る印刷品位を提供します。本体には、印刷現場の生産性向上を支えるデザインを採用しています。各ユニットに機器状態を示すナビゲーション LED を配置することで、消耗品交換などの必要な作業をコントローラーの UI 画面を確認せずとも直感的に把握でき、スムーズな動線で作業を行うことが可能です。さらに、天面はインクや印刷物の一時的な置き場や簡易的な作業スペースとして活用できるよう、凹凸を排したフラットな構成としています。

日本デザイン振興会賞を受賞した「Aquilion Rise」は、慶應義塾大学との産学連携による共同開発で誕生した、臥位・立位・座位のマルチポジションでの検査が可能な全身用 X 線 CT 診断装置です。架台（ガントリ）を片側からのみ支える構造により、患者さんや医療従事者の動線に配慮し、立位・座位撮影時において広い作業空間を確保しています。これにより、入退室を円滑に行うことができ、検査の効率化に寄与しています。また、曲面を基調としたやさしいフォルムで小型化を追求し、装置の圧迫感を低減するとともに、検査室の開放感と視認性を高めています。さらに、ボア開放部にある照明により開口内を明るく照らすことで、患者さんの不安や緊張の緩和に配慮しています。

「varioPRINT iX1700」と「Aquilion Rise」は、ともに国際的に権威ある「iF デザインアワード」（ドイツ）を受賞するなど、デザイン面で高い評価を得ています。キヤノングループが「機械工業デザイン賞 IDEA」で入賞するのは、今回で 19 回目となり、最優秀賞の受賞は、2 年連続 3 回目となります。今回の受賞を励みに、今後も性能とデザインを高度に融合させた製品づくりを続けていきます。

### 〈「機械工業デザイン賞 IDEA」とは〉

日刊工業新聞社が主催し、日本の工業製品におけるデザインの振興と発展を目的に 1970 年に創設されました。製品の機能や外観だけでなく、市場性や社会性、安全性など、さまざまな面から総合的な審査が行われるデザイン賞です。審査委員会は関係省庁や大学、各工業団体の専門家などで構成され、今年で 56 回目を迎えます。

〈ご参考〉

「varioPRINT iX1700」のデザインに関する詳細はキヤノン公式ウェブサイトをご参照ください。

<https://global.canon/ja/design/frontline/ix1700.html>